



新型コロナワクチンの 秋開始接種が始まりました

令和5年9月20日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

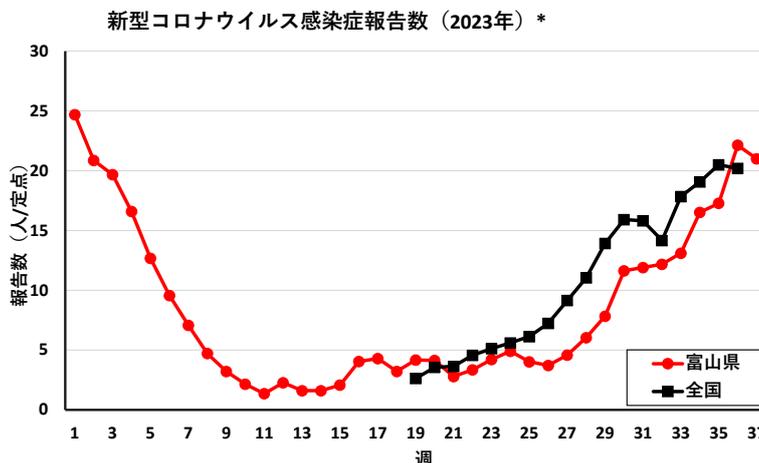
感染症発生動向速報

(令和5年第37週分・9月11日～9月17日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

全国の定点医療機関における新型コロナウイルス感染症の患者報告数は、第32週に一旦減少した後再増加しましたが、第36週は20.19人/定点となり前週からほぼ横ばいでした(右図参照)。富山県の定点医療機関あたりの報告数は、第34週から顕著に増加しましたが、第37週は21.00人/定点で、11週ぶりに前週より減少しました(右図参照)。年齢別では10歳代以下の報告数が多く、全体の約4割を占めています。学校内のイベントで感染が広がる可能性が考えられることから、体調不良者は参加を控える等の配慮が必要です。



*2023年1週～2023年18週の値は、全数報告数から定点医療機関の患者数を抽出し算出した

新型コロナワクチンは、新しいワクチンによる「令和5年秋開始接種」が始まっています。令和5年9月20日から令和6年3月31日の期間に、初回接種を終了した生後6か月以上のすべての人が1人1回の追加接種を自己負担なく受けられます(富山県/新型コロナウイルスワクチンの接種について)。使用されるワクチンはオミクロン株 XBB. 1.5 に対応した1価ワクチンです。現在、県内の流行の主流である XBB 系統及び約30%を占める EG.5 変異株に対しても、本ワクチンの接種によって感染予防効果が期待されます。

厚生労働省および富山県は、新型コロナウイルス感染症について、発症後5日間が経過し、かつ解熱および症状軽快から24時間が経過するまでは、外出を控えることを推奨しています。また、一般的に発症後10日間は、他者へ感染させるリスクがあるため、不織布マスクを着用するとともに、高齢者等の重症化リスクの高い方との接触は控えるなど、感染予防に配慮しましょう。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件(60歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(10歳未満、女性、型不明)
- 四類感染症 レジオネラ症 5件(①②共に60歳代、男性、肺炎型 ③～⑤全て70歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 3件(①第36週診断分:80歳代、男性 ②80歳代、男性 ③90歳代、男性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(60歳代、女性、G群)
- 百日咳 1件(10歳未満、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	COVID-19	21.00(↓)	22.13
2位	感染性胃腸炎	3.59(↑)	3.28
3位	手足口病	2.83(↑)	1.69
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.48(↓)	3.34
5位	インフルエンザ	1.06(↑)	0.73
6位	咽頭結膜熱	0.93(↓)	1.21

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第37週 令和5年9月11日～令和5年9月17日）

分類	疾患	今週報告分（第37週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核		1				1	5	6	23	5	54	93	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1	1		2	2	13	18	
	四類感染症	オウム病									1			1	
		日本紅斑熱											1	1	
		レジオネラ症	1		3		1	5	4	1	13	1	10	29	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		ウイルス性肝炎									1			1	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			1		1	2			11	2	11	24	
		急性脳炎									1		1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			1			6	1	5	12	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	7	10	
		侵襲性肺炎球菌感染症									2	5	1	11	19
		水痘（入院例）									1		1	4	6
		梅毒										2	1	14	17
播種性クリプトコックス症									1					1	
破傷風											1			1	
百日咳					1	1						4	4		
インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	9	8	20	4	10	51	819	1,386	3,369	1,143	4,727	11,444		
		1.29	1.60	1.54	0.57	0.63	1.06								
	COVID-19（※1）	175	89	277	99	368	1,008	1,424	902	2,516	1,262	2,317	8,421		
		25.00	17.80	21.31	14.14	23.00	21.00								
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1	5	6	5	9	26	67	116	646	252	578	1,659		
		0.25	1.67	0.75	1.25	0.90	0.90								
	咽頭結膜熱		1	24		2	27	67	52	274	41	170	604		
			0.33	3.00		0.20	0.93								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3		37	1	31	72	62	24	928	11	696	1,721		
		0.75		4.63	0.25	3.10	2.48								
	感染性胃腸炎	15	3	9	17	60	104	739	740	1,318	897	4,320	8,014		
		3.75	1.00	1.13	4.25	6.00	3.59								
	水痘		2	1			3	4	21	35	6	57	123		
			0.67	0.13			0.10								
	手足口病	3	10	13	30	26	82	30	54	303	85	231	703		
	0.75	3.33	1.63	7.50	2.60	2.83									
伝染性紅斑							1		2		6	9			
突発性発しん			2	1	2	5	13	28	96	23	66	226			
			0.25	0.25	0.20	0.17									
ヘルパンギーナ	4	6	6	3	4	23	108	130	765	100	526	1,629			
	1.00	2.00	0.75	0.75	0.40	0.79									
流行性耳下腺炎							1	2	8	2	12	25			
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎					1	1	3	2	26		4	35		
						0.50	0.14								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											1	1		
	マイコプラズマ肺炎									7			7		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5		5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）									1			1		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

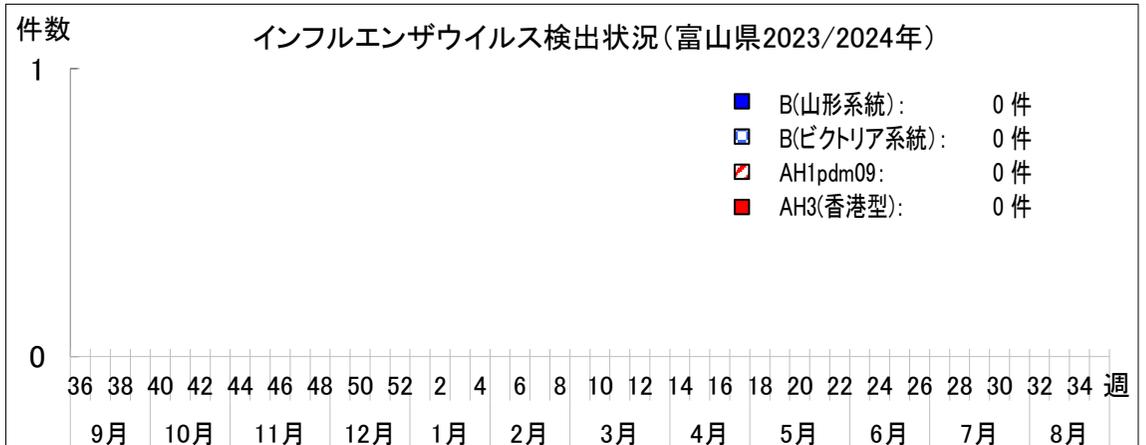
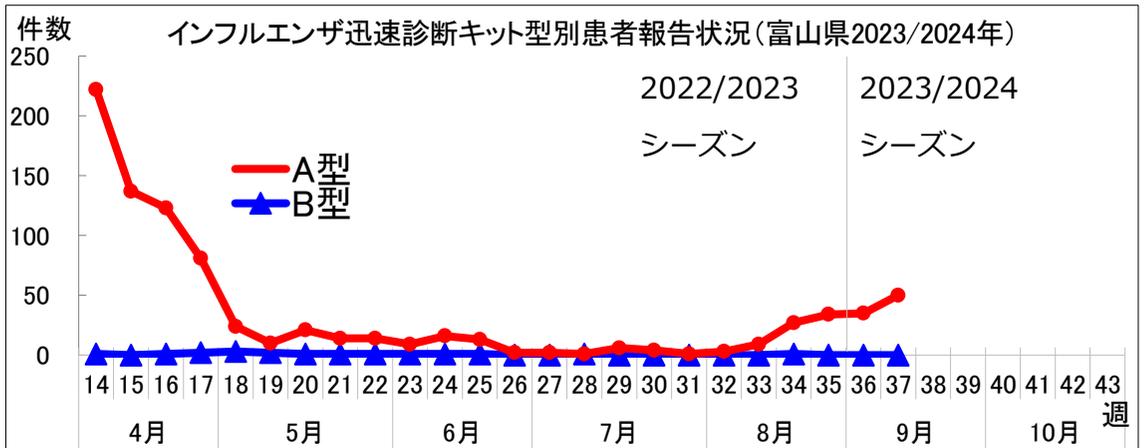
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が98.0%となっています。

第37週(9/11~9/17)：富山県 1.06人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	9	0	0	9
中部	2 / 5	8	0	0	8
高岡	8 / 13	19	0	1	20
砺波	2 / 7	4	0	0	4
富山市	8 / 16	10	0	0	10
富山県	23 / 48 ^{※1}	50	0	1	51
富山県累計(2023年36週~)		85	0	1	86

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が23か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





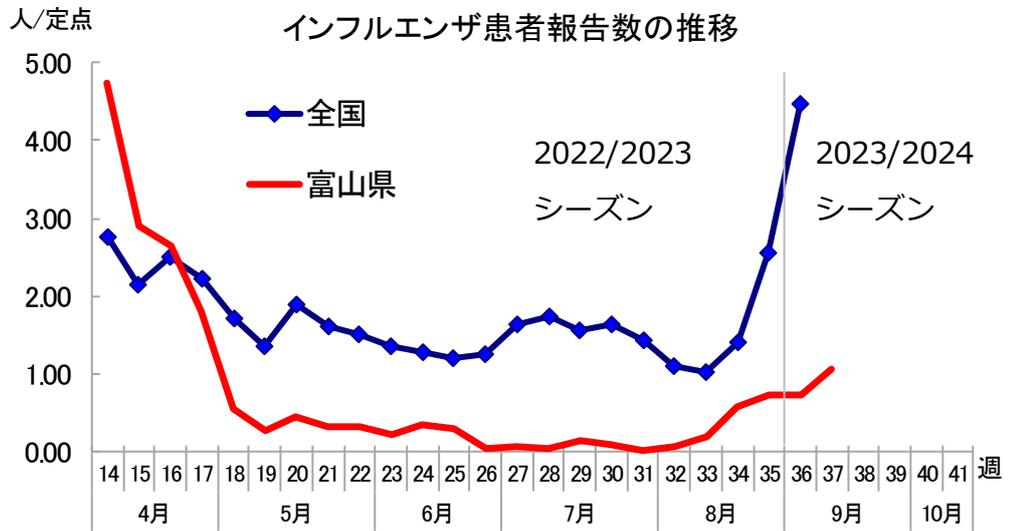
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 37 週 (9/11~9/17) : 富山県 1.06 人/定点

新川 HC (1.29)、中部 HC (1.60)、高岡 HC (1.54)、砺波 HC (0.57)、富山市 HC (0.63)

全国では、患者報告数が流行入りの目安である 1.0 人/定点を超え、顕著に増加しています。

今週、県内の患者報告数は 1.06 人/定点となり、緩やかに増加しています。全国と同様に 1.0 人/定点を超えました。

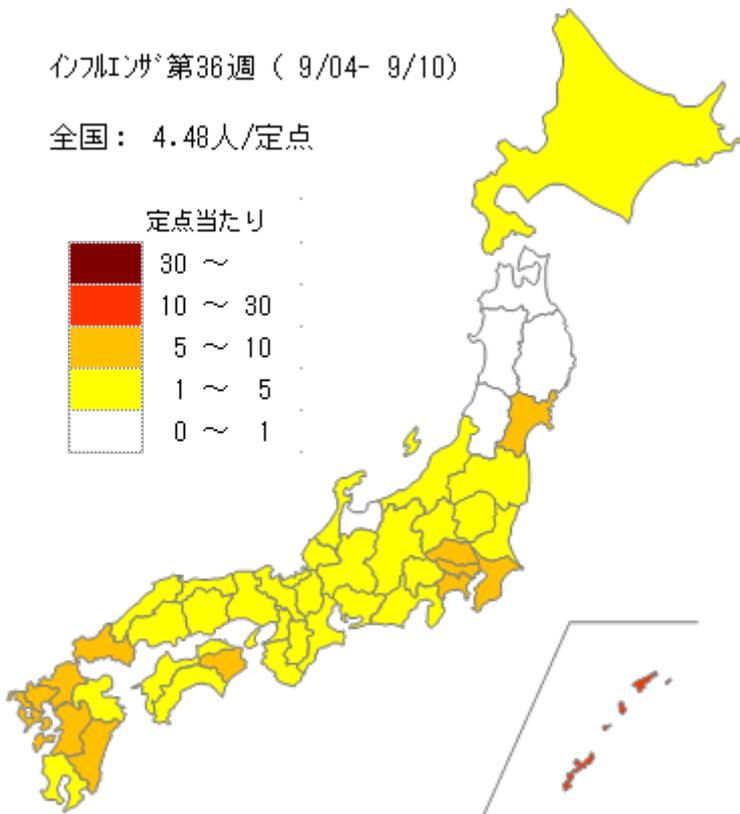
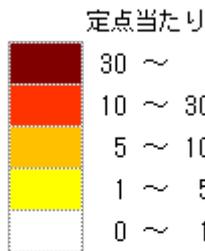


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 36 週 (9/4~9/10)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 4.48 人となり、前週の 2.56 人より増加しました。44 都道府県で前週より増加しています。

インフルエンザ第36週 (9/04- 9/10)

全国： 4.48人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.55 ↑	滋賀県	2.76 ↑
青森県	0.68 ↑	京都府	4.01 ↑
岩手県	0.92 ↑	大阪府	3.90 ↑
宮城県	7.34 ↑	兵庫県	3.83 ↑
秋田県	0.17 ↓	奈良県	2.40 ↑
山形県	0.49 ↑	和歌山県	3.71 ↑
福島県	2.55 ↑	鳥取県	3.93 ↑
茨城県	4.23 ↑	島根県	2.29 ↑
栃木県	1.87 ↑	岡山県	4.30 ↑
群馬県	1.87 ↑	広島県	2.29 ↑
埼玉県	5.94 ↑	山口県	7.00 ↑
千葉県	8.58 ↑	徳島県	6.86 ↑
東京都	5.95 ↑	香川県	1.34 ↑
神奈川県	5.45 ↑	愛媛県	4.85 ↑
新潟県	1.45 ↑	高知県	3.11 ↑
富山県	0.73 →	福岡県	7.56 ↑
石川県	1.65 ↑	佐賀県	6.16 ↑
福井県	1.41 ↑	長崎県	8.80 ↑
山梨県	2.12 ↓	熊本県	5.64 ↑
長野県	2.27 ↑	大分県	3.48 ↑
岐阜県	3.29 ↑	宮崎県	6.14 ↑
静岡県	4.79 ↑	鹿児島県	3.71 ↑
愛知県	4.89 ↑	沖縄県	13.43 ↑
三重県	4.62 ↑	全国	4.48 ↑